

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、2,828件（164種類）であり、このうち件数の多かったものは、「高齢者の命・健康・人権を脅かす七十五歳以上医療費窓口負担二割化の中止を求めることに関する請願」139件、「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民の命と健康を守ることに関する請願」及び「腎疾患総合対策の早期確立に関する請願」各88件、「教育費負担の公私間格差をなくし、子供たちに行き届いた教育を求める私学助成に関する請願」「全国一律最低賃金制度の実現に関する請願」「最低賃金引上げ実施のための中小企業・小規模事業所への特別補助、下請中小企業支援に関する請願」及び「障害福祉についての法制度拡充に関する請願」各86件などであった。

各委員会及び憲法審査会の付託件数は、内閣217件、総務3件、法務149件、外交防衛170件、財政金融153件、文教科学358件、厚生労働1,184件、農林水産31件、経済産業160件、国土交通204件、環境33件、議院運営9件、災害対策39件、倫理選挙18件、地方デジ1件、震災復興1件、憲法98件であった。

請願者の総数は783万4,663人に上っている。

請願書の紹介提出期限は、5月30日の議院運営委員会理事会において、会期終了日の7日前の6月8日までと決定された。

6月15日、各委員会及び憲法審査会において請願の審査が行われ、2委員会において304件（9種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで、同日の本会議において「裁判所の人的・物的充実に関する請願」外303件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は10.7%であり、種類別による採択率（採択数／付託数）は5.5%であった。